



ミニディスクロージャー誌 **2011**
第**108**期 営 業 の ご 報 告

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

ごあいさつ



日頃より、長崎銀行を格別にお引き立ていただき、心からお礼申し上げます。

さて、長崎銀行をより一層ご理解いただき、さらに身近に感じていただくために「ミニディスクロージャー誌2011、第108期 営業のご報告」を作成いたしました。本冊子では当行の平成22年度の経営内容や考え方などをわかりやすく説明しております。皆さまのご理解を深めることができましたら幸いに存じます。

今後とも、皆さま方のなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年6月

取締役頭取 **大場 剛**

CONTENTS

●経営方針	2
●決算ハイライト	3
●資産の健全性	5
●地域密着型金融推進への取組み	7
●金融円滑化推進への取組み	8
●地域社会貢献／トピックス	9
●個人のお客さま向けサービスのご案内	10
●財務諸表	11
●株式のご案内	12
●各種お問い合わせ先	13
●ネットワーク一覧	14

プロフィール

(平成23年3月31日現在)

創 業	大正元年（1912年）11月11日
資 本 金	41億円
総 資 産	2,771億円
自己資本比率	8.07%
預 金 残 高	2,613億円
貸 出 金 残 高	2,095億円
店 舗 数	32か店
行 員 数	342名

※計数につきましては原則として単位未満を切り捨てて表示しております。

経営方針

経営理念

「お客さま本位」のもと

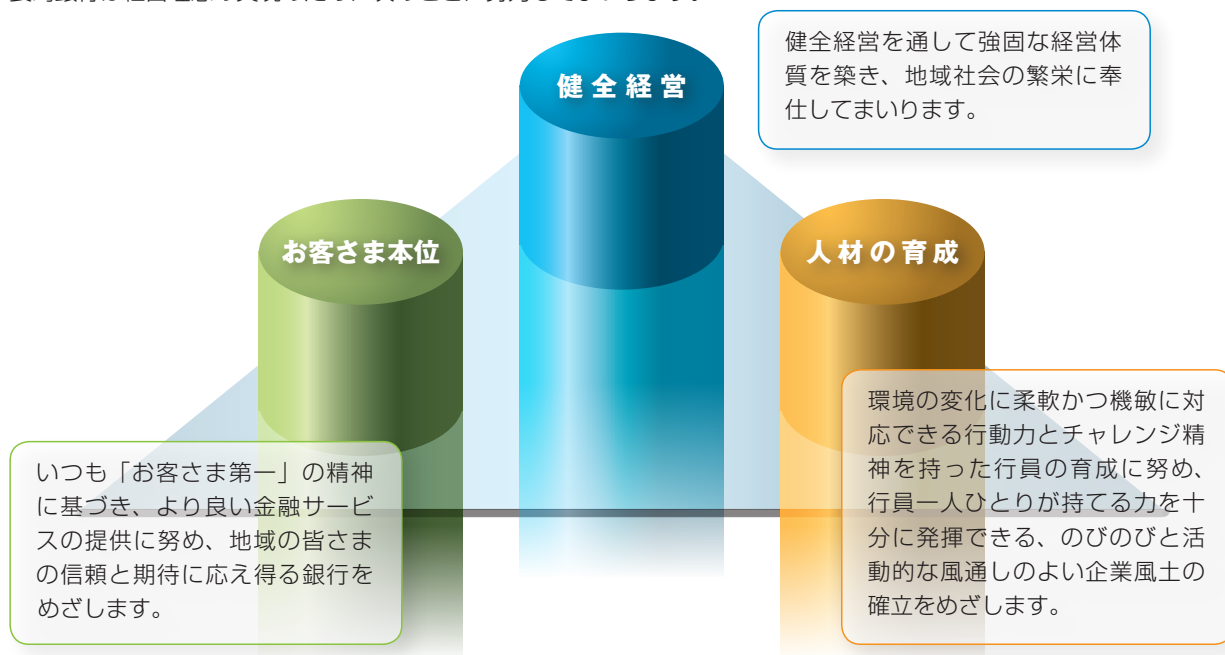
「健全経営」に徹し

「地域社会に奉仕」する

長崎銀行は、地域金融機関としてお客さまのご繁栄を願い、地域社会の発展に奉仕することを使命として、地域になくてはならない銀行をめざして、さらに努力してまいります。

経営方針

長崎銀行は経営理念の実現のために次のことに努力してまいります。



経営姿勢

長崎銀行は健全経営を堅持し、地域の皆さまとともに歩む銀行であることを願い、つねに「お客さま第一」の精神に基づき、お客さまとの信頼のきずなを深めてまいりました。

これからも、親会社である西日本シティ銀行とも十分連

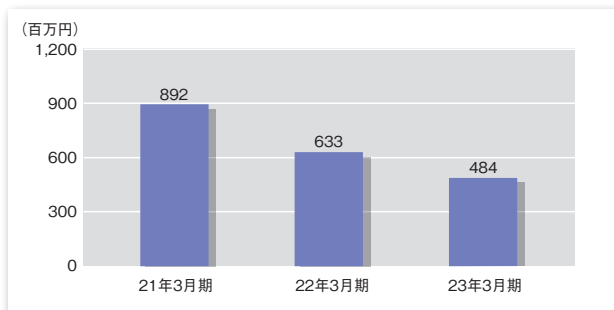
携し社会の変化を先取りできる清新はつらつとした行員の育成に努め、地域金融機関としての使命をもって、地域に密着し、地域社会の発展に奉仕するとともに地域に支持される銀行をめざして努力を重ねてまいります。

決算ハイライト

損益

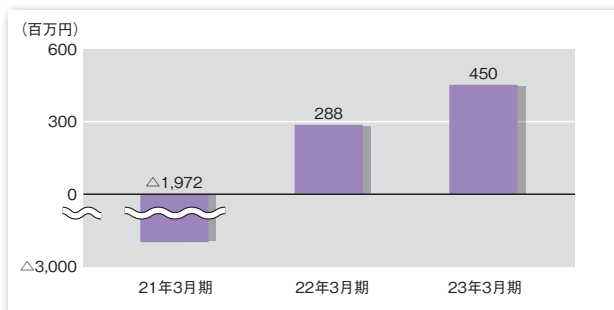
コア業務純益

コア業務純益は、貸出金利息、有価証券利息の減少等による業務収益の減少が、預金利息、役務費用、経費の減少等による業務費用の減少を上回り、前期比1億49百万円減少し、4億84百万円となりました。



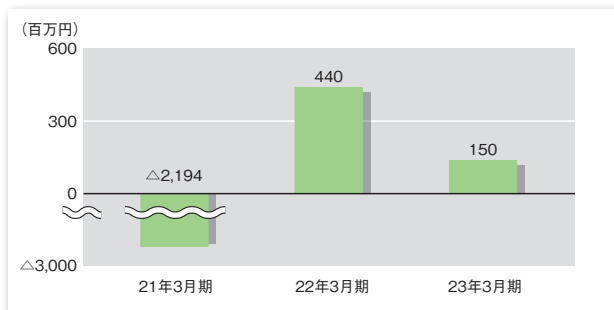
経常利益

経常利益は、株式等償却の減少及び不良債権処理損失額の減少を主因として前期比1億62百万円増加し、4億50百万円となりました。



当期純利益

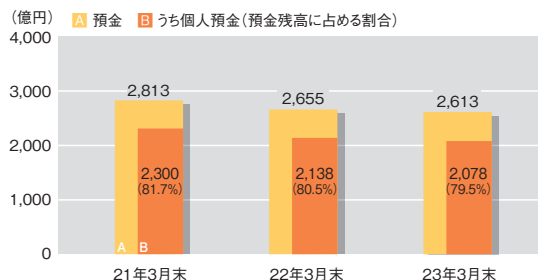
当期純利益は、財務内容の一層の健全化を図るため、所有不動産の減損処理等を実施した影響により、前期比2億90百万円減少し、1億50百万円となりました。



- 用語解説**
1. **コア業務純益**とは 預貸金業務などによる資金利益や投資信託等の販売手数料などの役務取引等収益などを含む業務粗利益から経費を差し引いたもので、銀行本来の業務の収益力を表す指標として一般的に用いられています。
2. **経常利益**とは 銀行の通常業務での利益を表したもので、通常業務で発生する収益（経常収益）から費用（経常費用）を差し引いたものです。
3. **当期純利益**とは 経常利益に特別に発生した利益と損失（特別利益、特別損失）と税金等を加減算したもので最終的な利益です。

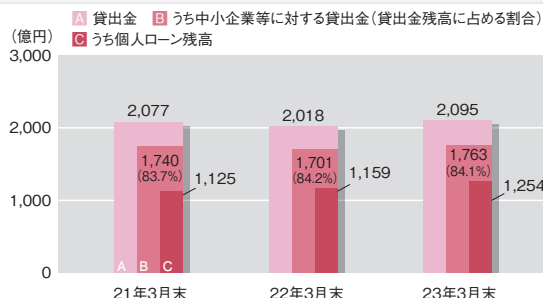
預金

預金は、個人預金を中心に積極的な営業活動を行いました
が、前期末比41億円減少し、2,613億円となりました。また、個人預金は、前期末比60億円減少し、2,078億円となりました。



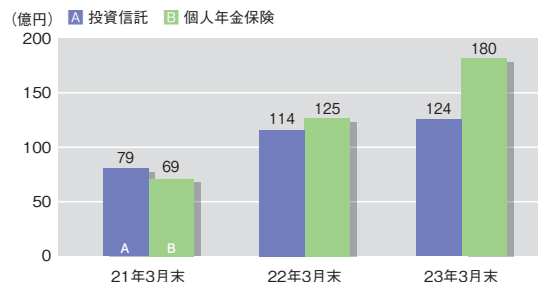
貸出金

貸出金は、個人・中小企業などのリテール部門を中心とした資金需要に積極的な対応を行いました結果、前期末比77億円増加し、2,095億円となりました。また、個人ローン残高は、前期末比95億円増加し、1,254億円となりました。中小企業等に対する貸出金残高につきましても、前期末比61億円増加し、1,763億円となりました。



預り資産

預り資産は、投資信託が前期末比9億円増加し124億円、個人年金保険が前期末比54億円増加し180億円となりました。



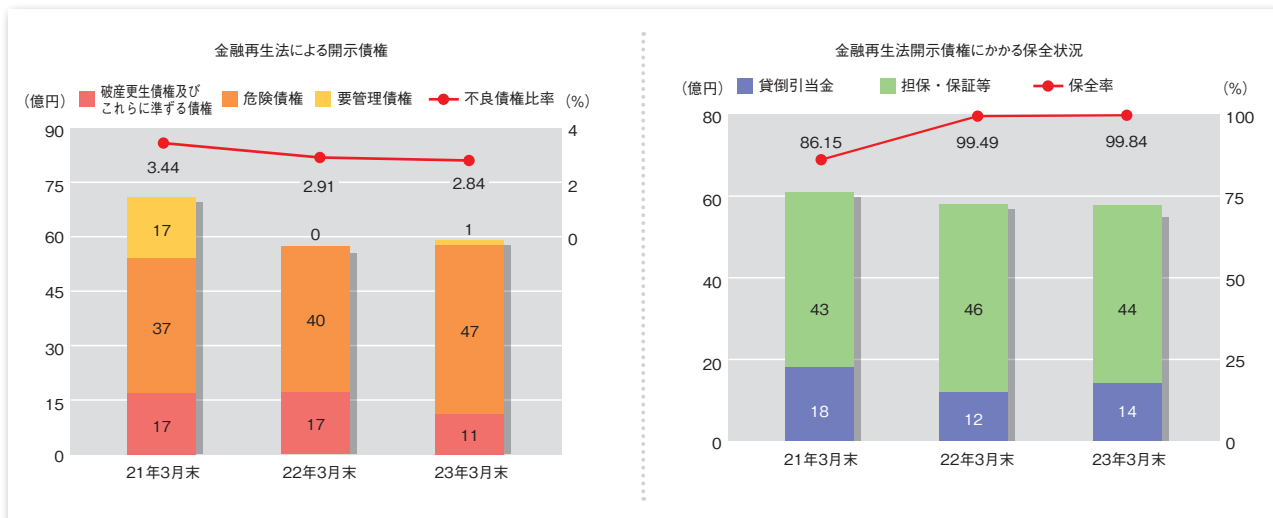
(注) 投資信託：残高、個人年金保険：販売累計額

資産の健全性

不良債権の状況

平成23年3月末における金融再生法ベースの不良債権残高は、前期末とほぼ横這いの59億円となり、不良債権比率は前期末比0.07%低下し、2.84%となりました。

また、保全率については、99.84%と将来にわたる信用リスクにも対応できる水準を確保しております。
今後も引き続き、不良債権残高の縮減を図るとともに、新規発生防止に努めてまいります。



金融再生法に基づく開示債権の状況（平成23年3月末）

(億円)

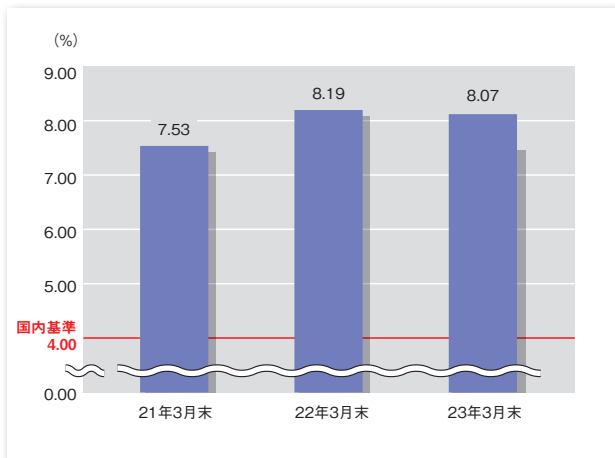
	債権額 (A)	貸倒引当金 (B)	担保・保証等 (C)	保全率 (B + C) ÷ (A)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	11	1	9	100.00%
危険債権	47	12	34	100.00%
要管理債権	1	0	0	91.72%
小計	59	14	44	99.84%
正常債権	2,040			
合計	2,099			

1. 破産更生債権及びこれらに準ずる債権 破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始申立て等の事由により経営破綻した債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権。
2. 危険債権 債務者が、経営破綻には至っていないものの、財政状態・経営成績が悪化し、契約通りの返済を受けることがなくなる可能性の高い債権。
3. 要管理債権 3か月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権。
4. 正常債権 債務者の財政状況などに特段の問題が無く、上記以外に区分される債権。

自己資本比率

自己資本比率とは、総資産（資産の各項目にリスク・ウエイトを乗じて得た額の合計額）に対する自己資本の比率のことで、金融機関経営の健全性を示す重要な指標です。国内のみで営業を行っている銀行の自己資本比率は4%以上とされています。

当行の平成23年3月末の自己資本比率は、8.07%と国内基準を上回っております。



地域密着型金融推進への取組み

当行は、西日本シティ銀行のグループ会社として、長崎県内を中心にリテール分野に特化し、多様化したニーズや質の高い金融サービスの提供等、お客さまの要望に十分お応えできる地域金融機関を目指し、地域密着型金融の推進への取組みを進めております。

① ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

西日本シティ銀行グループ各社との連携を図りながら、「事業再生」「創業・新事業支援」「経営改善支援」「事業承継」等の業務に積極的に取組み、取引先企業のライフサイクルに応じたきめ細かい支援を行っております。

② 事業価値を見極める融資をはじめ、中小企業に適した資金供給方法の徹底

無担保・第三者保証人原則不要商品である「ながさき事業者ローンⅡ」の取扱いなど、不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資を推進し、地域の中小企業金融の円滑化に努めております。また、事業性融資に関する開拓能力及び融資能力の向上に努め、取引先企業の経営改善のお手伝いができる人材の育成に努めております。

■「ながさき事業者ローンⅡ」取扱い中

地元中小企業、事業主の皆さま向けの季節運転資金や経営安定資金にご利用いただく、無担保・第三者保証人原則不要である「ながさき事業者ローンⅡ」の取扱いを行っております。

- ・ご融資金額：1百万円～6百万円
- ・期 間：短期1年以内、長期7年以内
- ・お使いみち：事業資金に限ります

※詳しくは担当者または窓口でお気軽にお尋ねください。

③ 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

「商談会」「各種セミナー」の開催、「ローンプラザ」の設置等による地域に対する情報の提供及び「利用者満足度アンケート」の結果に基づくCS向上策の策定・実践により、お客さまや地域のニーズにあった質の高い金融サービスの提供を通じて、地域社会の活性化・発展に取り組んでおります。

金融円滑化推進への取組み

平成21年12月の「中小企業者等に対する金融の円滑化を図るための臨時措置に関する法律」の施行等を踏まえ、当行では新規のお借入れ及びお借入れ条件の変更等に係るお客さまからのご相談等に、より迅速かつ適切に対応するよう体制を強化するとともに、中小企業者の方々の経営改善支援への相談・指導といったコンサルティング機能の充実に努め、金融円滑化推進への取組みをさらに強化しております。

■ 貸付の条件の変更等の実施状況（平成23年3月末現在）

中小企業者向け (件数：件／金額：百万円)

	申込み		実行		審査中		謝絶		取下げ	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
全体	744	15,866	614	12,995	36	433	27	922	67	1,515
うち、信用保証協会等による債務保証を受けていなかった貸付債権	362	13,522	309	11,031	17	340	6	811	30	1,339

住宅資金借入者向け (件数：件／金額：百万円)

	申込み		実行		審査中		謝絶		取下げ	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
全体	114	1,455	68	778	12	156	3	60	31	459

- (注) 1. 上記計数は、債権ベースで集計しております。また、百万円単位未満は切り捨ててしております。
2. 「中小企業者」には、一般事業を行う個人のお客さまも含まれます。
3. 「申込み」とは、「お客さまからの貸付条件の変更等の申込みを書面または口頭で受けたもの」を指します。

■ ご相談・お申込み、及び苦情等受付窓口の体制について

中小企業者のお客さま	住宅ローンご利用のお客さま
・すべての営業店ご融資窓口	・すべての営業店ご融資窓口 ・ながさきローンプラザ  0120-64-7171

上記窓口の営業店長を「金融円滑化相談責任者」とし、金融円滑化に関するお客さまからのご相談・お申込み、及び苦情等に対応するとともに、その内容の把握や進捗管理に努めます。

金融円滑化に関する苦情相談電話窓口
 0120-855-875 【受付時間】 平日9：00～17：00（銀行の休業日を除く）

お客さま相談室内に「金融円滑化対応苦情相談窓口」を設置し、お客さまからの苦情等に直接対応いたします。

地域社会貢献／トピックス

地域行事への参加

■ 市民大清掃への参加

美しいまちづくりに対する市民の意識の高揚を図り、快適な環境を築いていくことを目的として毎年長崎市で行われる「市民大清掃」に当行も毎年多くの役職員が参加し、きれいなまちづくりのための清掃活動に取り組んでおります。



■ 図書の寄贈

長崎銀行と(財)長崎銀行奨学育成基金は、地域文化の向上にお役立ていただくため、昭和57年11月から29年間にわたって約4,800冊(平成23年3月末現在)の図書を長崎市へ贈呈させていただいております。

平成22年度も3月に198冊の図書の寄贈を行いました。



■ 長崎くんちへの参加

「長崎くんち」は毎年10月7日から3日間行われる長崎市の氏神、諏訪神社の秋季大祭で、国指定重要無形民俗文化財にも指定されております。奉納踊りを担当する踊町、祭りの世話役にあたる年番町は旧長崎市内の各町が交代でつとめており、支店のある町や行員の住む町が当番にあたるときは積極的に参加し、地域の皆さまのお手伝いをさせていただいております。



トピックス

■ ジェイアール九州商事(株)商談会

平成22年12月、お取引先の販路拡大支援を目的に、ジェイアール九州商事(株)への商品納入を希望する企業を対象とした、当行、西日本シティ銀行及び豊和銀行等との共催による商談会を開催いたしました。



個人のお客さま向けサービスのご案内

■ セブン銀行とのATM利用提携について

平成23年9月上旬より、当行のキャッシュカードをお持ちのお客さまは、セブン-イレブン、イトーヨーカドー等に設置のセブン銀行ATMで、入出金等のサービスがご利用いただけるようになります。セブン銀行のATMは、5月末現在、47都道府県に合計15,553台設置されています。

セブン銀行との提携に関する具体的なサービス内容、手数料等につきましては、詳細が決まり次第あらためてお知らせいたします。



■ ポイントサービスの開始について

平成23年9月上旬より、コンビニATMの開始と合わせてポイントサービスの受付を開始します。ポイントサービスとは、ポイントサービスをお申込みになられたお客さまの取引内容をポイント化し、ポイントに応じた様々な特典を提供するサービスです。ポイントによって、コンビニATMの手数料が無料になるサービスの他に、ローンの金利割引、ATM振込手数料の割引などを検討しています。

ポイントサービスに関する具体的なサービス内容等につきましては、詳細が決まり次第あらためてお知らせいたします。

■ 住宅ローンのご相談は「ながさきローンプラザ」まで！

「土日にゆっくり住宅ローンの相談をしたいな。」様々な生活スタイルのお客さまが気軽に住宅ローンについてご相談いただけるように、土・日曜日の相談窓口として「ながさきローンプラザ」を開設しております。

ご自宅の新築・ご購入、既存の住宅ローンのお借り換えなどの住宅に関するローンについてお気軽にご相談ください。

(注) 営業時間、営業日については、右表をご覧ください。

◎住宅（新築・購入） ◎アパート ◎借り換え

資金計画、お借り入れについてご相談を承っております！

個人のお客さまをはじめ、ハウスメーカーの方もお気軽にお立ち寄りください。

◎平日／AM10:00～PM7:00

◎土・日曜日／AM 9:00～PM5:00

※但し、毎週水曜日、祝日（祝日が日曜日の場合翌月曜日）、12/31～1/3は定休日

◎ながさきローンプラザ

0120-64-7171

長崎市栄町1-15 長崎銀行別館 1F
TEL 095-829-4371 FAX 095-829-4372



■ マネーのご相談ならお任せください

お客さまの資産運用ニーズに、当行スタッフが「ふやす・つかう・のこす」方法を総合的にアドバイスします。

「充実したセカンドライフを過ごしたい…」

「愛する家族に円満・確実に遺したい…」

といったお客さまのお金に関する様々なニーズに適したご提案やアドバイスをいたします。

「定期預金」をはじめ、「投資信託」「個人年金保険」「終身保険」などの商品を幅広く揃えており、バランスよく資産形成のお手伝いをいたします。

お気軽にご相談ください。



財務諸表

貸借対照表

(平成23年3月31日現在)

科目	金額
資産の部	
現金預け金	62,281
現金	4,169
預け金	58,111
商品有価証券	3
商品国債	3
貸出金	209,558
割引手形	1,210
手形貸付	3,357
証書貸付	196,825
当座貸越	8,165
その他資産	1,527
未決済為替貸	11
前払費用	5
未収収益	341
その他の資産	1,168
有形固定資産	5,112
建物	746
土地	3,806
リース資産	120
その他の有形固定資産	438
無形固定資産	107
ソフトウェア	85
その他の無形固定資産	21
繰延税金資産	451
支払承諾見返	210
貸倒引当金	△2,075
資産の部合計	277,175

(単位：百万円)

科目	金額
負債の部	
預金	261,381
当座預金	3,107
普通預金	56,674
貯蓄預金	345
通知預金	225
定期預金	195,814
定期積金	889
その他の預金	4,324
借入金	4,000
借入金	4,000
その他負債	1,342
未決済為替借	18
未払法人税等	25
未払費用	896
前受収益	65
従業員預り金	0
給付補てん備金	1
リース債務	120
資産除去債務	23
その他の負債	192
退職給付引当金	705
役員退職慰労引当金	31
睡眠預金払戻損失引当金	35
偶発損失引当金	64
再評価に係る繰延税金負債	947
支払承諾	210
負債の部合計	268,719
純資産の部	
資本金	4,121
資本剰余金	2,500
その他資本剰余金	2,500
利益剰余金	572
利益準備金	45
その他利益剰余金	527
繰越利益剰余金	527
自己株式	△35
株主資本合計	7,158
土地再評価差額金	1,298
評価・換算差額等合計	1,298
純資産の部合計	8,456
負債及び純資産の部合計	277,175

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで) (単位：百万円)

科目	金額
経常収益	
資金運用収益	5,501
貸出金利息	5,139
有価証券利息配当金	0
コールローン利息	7
預け金利息	354
その他の受入利息	0
役務取引等収益	589
受入為替手数料	134
その他の役務収益	454
その他経常収益	167
その他の経常収益	167
経常費用	5,807
資金調達費用	664
預金利息	587
借入金利息	68
その他の支払利息	8
役務取引等費用	774
支払為替手数料	21
その他の役務費用	752
その他業務費用	0
商品有価証券売買損	0
営業経費	4,227
その他経常費用	141
貸出金償却	102
その他の経常費用	39
経常利益	450
特別利益	335
固定資産処分益	0
償却債権取立益	157
貸倒引当金戻入益	159
役員退職慰労引当金戻入額	18
特別損失	752
固定資産処分損	21
減損損失	545
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	19
その他の特別損失	166
税引前当期純利益	33
法人税、住民税及び事業税	11
法人税等調整額	△128
法人税等合計	△117
当期純利益	150

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書

(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

(単位：百万円)

科目	金額
株主資本	
資本金	
前期末残高	4,121
当期変動額	—
当期変動額合計	—
当期末残高	4,121
資本剰余金	
その他資本剰余金	
前期末残高	2,500
当期変動額	—
当期変動額合計	—
当期末残高	2,500
資本剰余金合計	
前期末残高	2,500
当期変動額	—
当期変動額合計	—
当期末残高	2,500
利益剰余金	
利益準備金	
前期末残高	—
当期変動額	—
利益準備金の積立	45
当期変動額合計	45
当期末残高	45
その他利益剰余金	
繰越利益剰余金	
前期末残高	440
当期変動額	—
利益準備金の積立	△45
剰余金の配当	△225
当期純利益	150
土地再評価差額金の取崩	206
当期変動額合計	87
当期末残高	527

科目	金額
利益剰余金合計	
前期末残高	440
当期変動額	—
利益準備金の積立	—
剰余金の配当	△225
当期純利益	150
土地再評価差額金の取崩	206
当期変動額合計	132
当期末残高	572
自己株式	
前期末残高	△35
当期変動額	—
自己株式の取得	△0
当期変動額合計	△0
当期末残高	△35
株主資本合計	
前期末残高	7,026
当期変動額	—
剰余金の配当	△225
当期純利益	150
自己株式の取得	△0
土地再評価差額金の取崩	206
当期変動額合計	132
当期末残高	7,158

科目	金額
評価・換算差額等	
土地再評価差額金	
前期末残高	1,504
当期変動額	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△206
当期変動額合計	△206
当期末残高	1,298
評価・換算差額等合計	
前期末残高	1,504
当期変動額	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△206
当期変動額合計	△206
当期末残高	1,298
純資産合計	
前期末残高	8,531
当期変動額	—
剰余金の配当	△225
当期純利益	150
自己株式の取得	△0
土地再評価差額金の取崩	206
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△206
当期変動額	△74
当期末残高	8,456

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式のご案内

決 算 日	毎年3月31日に決算を行います。
定 時 株 主 総 会	毎年4月1日から3か月以内に開催いたします。
配 当 金	毎年3月31日最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者にお支払いいたします。 なお、中間配当を行う場合は、毎年9月30日最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者にお支払いいたします。
基 準 日	定時株主総会の基準日については3月31日といたします。 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
公 告 掲 載 新 聞	「日本経済新聞」及び「西日本新聞」に掲載いたします。

株 主 名 簿 管 理 人	東京都中央区日本橋茅場町1丁目2番4号 日本証券代行株式会社
株 式 事 務 取 扱 場 所	〒810-0001 福岡市中央区天神2丁目14番2号 日本証券代行株式会社福岡支店 電話 福岡 (092) 741-0284
郵 便 物 送 付 先 お 問 合 せ 先	〒137-8650 東京都江東区塩浜2丁目8番18号 日本証券代行株式会社 代理人部 (住所変更等用紙のご請求) ☎0120-707-842 (その他のご照会) ☎0120-707-843
同 取 次 所	日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店

各種お問い合わせ先

■ 当行各種お問い合わせ先

お問い合わせ内容	受付時間	連絡先
通帳・カード・印鑑の紛失・盗難のお届け	月～金曜日 (銀行の休業日を除く) 8:45～18:00	各お取引店
	24時間365日	ATM監視センター 095-849-6092
苦情・ご意見・ご要望等	月～金曜日 (銀行の休業日を除く) 9:00～17:00	人事総務部 お客さま相談室 095-829-4100

■ 全国銀行協会相談室

「全国銀行協会相談室」は、銀行に関する様々なご相談やご照会、銀行に対するご意見・苦情を受け付けるための窓口として、全国銀行協会が運営しています。ご相談・ご照会等は無料です。

詳しくは、全国銀行協会のホームページ (<http://www.zenginkyo.or.jp/adr/>) をご参照ください。

また、「全国銀行協会相談室」がお客さまからの苦情の申出を受け、原則として2ヶ月を経過してもトラブルが解決しない場合には、「あっせん委員会」をご利用いただけます。詳しくは全国銀行協会にお尋ねください。

電話番号	受付時間
0570-017109 または 03-5252-3772	月～金曜日 (銀行の休業日を除く) 9:00～17:00

※全国銀行協会は銀行法及び農林中央金庫法上の指定紛争解決機関です。

ネットワーク一覧

店舗一覧

(平成23年3月31日現在)

長崎県	◎本店営業部	☎095-825-4161
	◎銅座町支店	☎095-826-9261
	◎千歳支店	☎095-849-1130
	◎浦上支店	☎095-844-0104
	◎新大工町支店	☎095-826-6361
	◎思案橋支店	☎095-826-7146
	◎長崎駅前支店	☎095-826-9338
	◎滑石支店	☎095-856-2161
	◎江川支店	☎095-878-5115
	◎城山支店	☎095-847-1020
	◎長与支店	☎095-883-6221
	◎新戸町支店	☎095-878-1709
	◎戸石支店	☎095-830-1121
	◎時津支店	☎095-840-2230
	◎諫早支店	☎0957-22-3347
	◎大村支店	☎0957-52-3181
	◎島原支店	☎0957-62-4121
	◎口之津支店	☎0957-86-4151
	◎有明支店	☎0957-68-1131
	◎三会支店	☎0957-62-6868
	◎西大村支店	☎0957-53-6210
	◎佐世保支店	☎0956-22-6171
	◎大崎支店	☎0959-34-2051
佐賀県	◎早岐支店	☎0956-38-3151
	◎大瀬戸支店	☎0959-22-0073
	◎佐賀支店	☎0952-24-2281
熊本県	◎唐津支店	☎0955-72-5148
	◎有田支店	☎0955-42-4104
	◎熊本支店	☎096-352-7155
	◎八代支店	☎0965-32-3161
	◎天草支店	☎0969-22-5221
	◎水前寺支店	☎096-381-9281

(注)・◎…土曜日、日曜日、祝日にATMコーナーがご利用いただけます。
・ATM稼働時間内はご入金ができます。

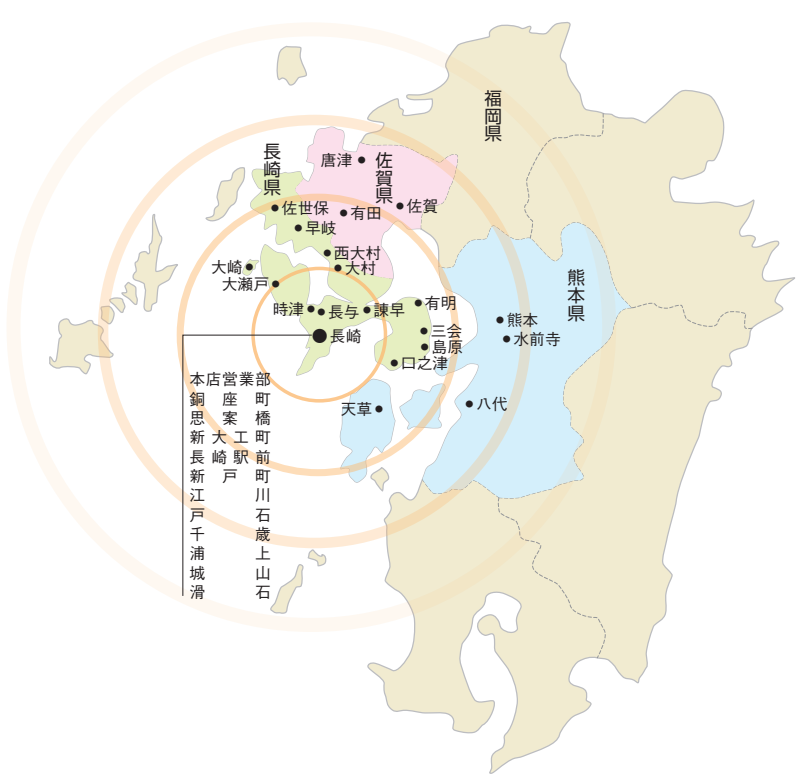
店舗外キャッシュコーナー

(平成23年3月31日現在)

ATM	◎三原台病院
	◎夢彩都
	◎住吉町
	◎昭和町
	◎道の尾
	◎みらい長崎コウオーク
	◎浜町
	◎アミュープラザ長崎
	◎滑石ショッピングセンター
	◎ジョイフルサンショッピングプラザ江川店
	◎イオン時津ショッピングセンター
	◎イオン東長崎ショッピングセンター
	◎福田
	◎イオン大村ショッピングセンター
	◎まるたか富の原店

店舗配置図

(平成23年3月31日現在)





発行2011年6月 編集／長崎銀行 総合企画部
〒850-8666 長崎市栄町3番14号 電話095-825-4151
<http://www.nagasaki.co.jp>

